

第43号
(令和7年7月号)

Kasai City Hospital

市立

加西病院だより



令和7年2月3日。院内保育園「みつばち保育園」でまめまき大会を開催。
サポーターの会の皆さんが鬼になって活躍されました。

目次

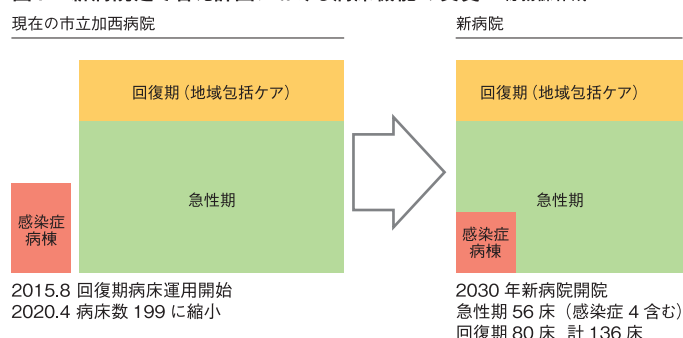
事業管理者兼病院長あいさつ P.2
新任医師の紹介 P.3
職場紹介①入院支援窓口のご案内 P.3
小児科から P.4、P.5
職場紹介②認知症・せん妄対策チーム P.6

オンライン医療通訳「FACIL」 P.7
新病院に向けた取組み P.8、P.9
加西病院サポーターの会だより P.10、11
外来診察担当表 P.12

院長就任 5 年間をふりかえり

院長就任後の 5 年間が終わりました。この 5 年間は新型コロナウイルス感染症、病院老朽化にともなう新病院建て替え計画、医師不足への対応、外科医減少への対応の 5 年間でした。コロナに関してはようやく終息を迎え、面会制限の緩和、院内行事の再開の段階まで戻っています。新病院建て替え計画と医師不足の問題は関連しており、全国的な医師、医療者不足のなか、地域での病院統合がおこり、機能分化が計画された中での新病院建て替えとなります。又、加西市唯一の急性期をになう公的病院としての役割から、北播磨医療圏での機能分化の中で、急性期から回復期へシフトし、将来の患者数の減少が見込まれる中でもあり、病床数の減少となっています(図1)。しかし、今しばらく高齢者数の増加により入院を必要とする患者数の増加が考えられるために、今年の病院目標を『新病院にむけた段階的減床の中、効率的な病床運営を行っていこう』としました。在宅医療が未整備な状況下での病院の役割を考えていきたいと思います。

図1：新病院建て替え計画における病床機能の変更 総務課作成



さて、後者の医師不足、診療科の消失、内科、外科医不足に関しては、全体的な医師不足の中、基幹病院へ医師を集約することにより、地域の医療を守っていく考えの中です。加西市は北播磨医療圏として北播磨総合医療センター（2014年開院）が基幹病院となり、その連携が進んでいます。地理的に近い加古

川中央市民病院（2016年開院）、県立はりま姫路総合医療センター（2022年開院）を含めて、3基幹病院と連携協定が結ばれています。そのような医療環境の中で、放射線科、小児科、産婦人科、泌尿器科の常勤医の消失、これに対しては画像連携システムの導入、神戸大学病院からの非常勤医師の派遣で対応しています。内科医の不足に対しては非常勤医師の応援、時間外対応での神戸大学病院からの応援、チーム医療の推進により、内科医師の負担軽減を行い、外科医師の減少に対しては、前述3基幹病院のバックアップ、特に北播磨総合医療センターとは昨年の病院だよりに記載しましたが、北播磨地域の“きずなネット”（病病連携、病診連携のための画像、検査結果閲覧システム）の機能をフル活用しています。私は外科医であり、院長業務のほかに外科医としての役割を再度求められるようになり、その一部を紹介します。外科患者数の推移では、外来患者数は少し減少していますが、一定数を保っています。入院患者数は最近大幅に増加していますが、前述した内科医不足の中、チーム医療の主治医としての役割がコロナの流行とともにスタートし、その仕組みが維持されています(図2)。外科手術件数の推移ではこの数年激減していますが、基幹病院との連携のもとに当院で対応できる手術を非常勤外科医の応援を得ながら行っていきたいと思っています(図3)。

最後に、この5年間で進んだことは地域医療における機能分化の考え方と浸透、医師、医療者不足の中で、タクシエ・シフトの取り組み、チーム医療の推進です。私個人では外来、入院病棟で患者さんと接する機会がふえ、患者さん、ご家族さんのご意向に十分添えないこともあるかもしれませんが、できる限りチーム医療で対応して参りたいと思います。

図2：加西病院外科患者数の推移 医事課作成

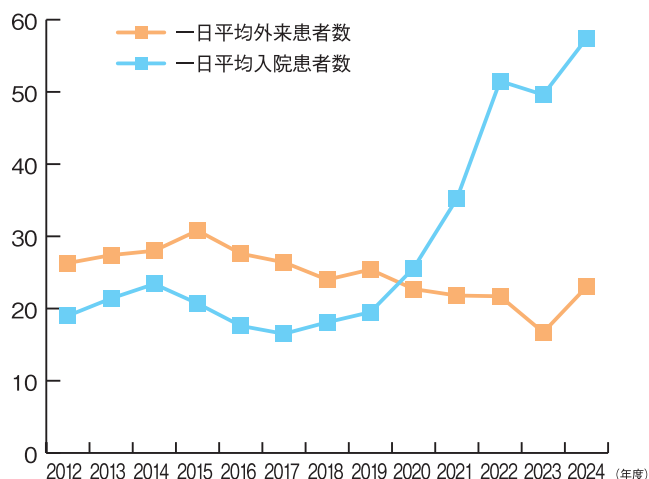
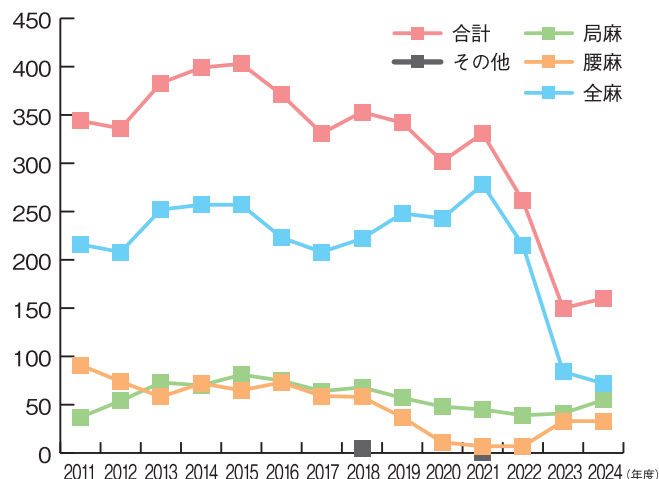


図3：加西病院外科手術件数の推移 医事課作成



2

新任医師の紹介

①得意とする分野 ②趣味・特技 ③座右の銘・信念・モットー ④加西病院の印象は？ ⑤自己PR 等

医員



整形外科
山本 茜

- ①探し中
- ②走ること、スキー、何時間でも寝られること。
- ③継続は力なり
- ④温かい人が多い。
- ⑤笑顔と元気を忘れず頑張ります。よろしくお願いします。

医員



内科
椿野 雄貴

- ①消化器内科
- ②スポーツ観戦、野球、ラーメン
- ③継続は力なり
- ④私は初期研修の2年間で加西病院で過ごし、1年振りに戻ってきました。加西病院は、皆さんあたたかく非常に素晴らしい環境と思っています。
- ⑤一生懸命、診察させていただきます。半年間よろしくお願いします。

医員



内科
戸谷 梨沙

- ①呼吸器内科
- ②パン屋めぐり
- ③謙虚に頑張ります。分かりやすい言葉での病状説明を心がけています。
- ④職員も患者さんもご家族も、とても丁寧で和やかな方が多い印象です。
- ⑤まだまだ未熟ですが尽力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医員



内科
吉門 侑利英

- ①循環器内科
- ②高そうな旅館に泊まること。温泉！
- ③困難は分割せよ
- ④アットホーム
- ⑤未熟な医師ではありますが、上級医の先生方に教えていただきながら、精一杯がんばりますので、よろしくお願いいたします。

3

職場紹介① 入院支援窓口のご案内

医療介護総合支援センター

医療介護総合支援センターでは、今年度4月より看護師2名を増員し、入院支援窓口を開設しました。入院支援窓口では、各科外来で入院が決定した時点から入院時のオリエンテーション業務を行っています。今までは、各科外来で患者さんの情報を聞き取り、その後病棟で患者さん・ご家族に入院時のオリエンテーションを実施していました。病棟では患者さんの対応を優先するため、ご家族には長時間お待ちいただくこともありました。そこで、外来から入院までの一連の流れをスムーズに行うことを目的に、窓口を一本化することで、丁寧な入院時オリエンテーションを行います。

「入院生活はどんな感じだろうか?」「どのような準備が必要なのだろうか?」など心配なことがたくさんあります。そのような、不安を少しでも軽減し、スムーズに入院生活に入っていただけるようお手伝いします。

入院支援窓口で収集した患者さんの情報はしっかり病棟へつなげ、必要に応じて早期から地域医療室が介入し、在宅支援者と連携し退院後の生活を見据えて支援をさせていただきます。

主な入院時オリエンテーション業務内容

入院決定後、入院支援窓口個室ブースで看護師が患者さん・ご家族と面談を行います。

- 入院パンフレットに沿った入院生活上の注意事項、入院に必要な必要物品や書類等について説明します
- 入院中に行う検査や治療について説明します
- 入院までの経過や病歴、日常生活の様子、家族構成、緊急連絡先、アレルギーなどの確認を行います
- 個室希望有無の確認を行い調整します
- 寝衣や日用品のリースの説明をします
- 退院後も安心・安全な療養生活が継続出来るように必要な調整を早期より行います
- 入院時のオリエンテーション以外にも、入退院に関する不安や相談について、地域医療室・薬剤師・認定看護師等と必要に応じて連携します

患者さん・ご家族からのご意見

入院支援窓口でオリエンテーションを受けられたご家族からは、「入院生活のイメージができて不安がやわらいだ」「じっくり話を聞いてもらってありがとう」などの声を頂いています。



青葉の季節となり、初夏の香を感じる今日この頃です。タイトルにも記載しましたが、市立加西病院小児科は、木曜日の午前および金曜日の午後に診療を行っています。担当医は、木曜日が神戸大学病院の野津寛大教授、金曜日が北播磨こども発達支援センターの水戸敬医師です。

野津医師は日本小児科学会兵庫県地方会の会長であり、兵庫県の小児診療の統括者です。専門は腎疾患および遺伝性疾患ですが、幅広い知識を武器とし、一般小児診療も得意で、どのような領域の病気でも診療することができます。姫路赤十字病院小児科で常勤医師として診療を支えていた経験もあります。

水戸医師は神経疾患、特にてんかんや発達障害の専門家であり、これらの疾患はもちろん、起立性調節障害やその他の心身症の診療も行っております。また一般小児診療ももちろん得意とし、市立加西病院小児科で常勤医として10年間、非常勤としても10年以上の勤務経験があります。

このような頼れる小児科医師が市立加西病院小児科の診療を支えています。



▲野津医師



診療内容の強み

感染症診療

小児はコロナ禍の影響で風邪ウイルスに触れる機会が減少していましたが、現在はさまざまな病原体に再び曝露されています。子どもが頻繁に風邪をひくことに不安を感じる親御さんも多いでしょう。特に最近ではマイコプラズマ肺炎やRSウイルス、百日咳の流行が見られます。当院ではFilmArrayという検査をいち早く導入しました。この検査はマルチプレックスPCRという検査方法で、1回鼻をほじるだけで、アデノウイルス、新型コロナウイルス、従来のコロナウイルス、ヒトメタニューモウイルス、ライノウイルス、エンテロウイルス、インフルエンザウイルス、RSウイルス、百日咳、クラミジア、マイコプラズマを高感度であるPCR検査により検出することができます。そのため、お子さんが何らかの症状に苦しんでいる場合もかなり高確率でその原因を特定することができます。検査適応は様々な抗原検査を行っても病原体不明の患者さんや、明らかに重症感があり病原体同定が絶対に必要な患者さんとなります。検査希望される場合は結果が出るのに1時間かかりますので、診療終了時間の1時間以上前に余裕を持って受診してください。

夜尿症診療

お子さんの夜尿症（おねしょ）でお困りの方もいらっしゃるでしょう。といいますのも夜尿症は決してまれなことではなく、10歳のお子さんでも5－10%で認めるとされております。ですので、お子さんが夜尿症を認めても不思議ではありません。夜尿症は年齢に応じた膀胱の発達不足が原因です。治療介入により、早期の改善が可能です。野津医師は小児の腎泌尿器の専門家であり、その病態を深く理解すると共に、夜尿症の豊富な診療経験をもっているため、お子さんにとって無理なく適切な治療介入を行い、できる限り早期に治癒させることをお手伝いすることができます。木曜日午前中のみ診療ですが、実際にお子さんの受診が必要なのは初診時および夏休み、冬休みなどの長期休暇時のみで、その他は親御さんなどが状況報告および処方を受け取りに来ていただくシステムですので、お子さんが頻回に学校を休む必要もありません。夜尿症でお困りのお子さんがいらっしゃいましたら気軽にご相談ください。

てんかんなど小児神経疾患診療

水戸医師はこれまで、小児神経診療の国内有数の施設である鳥取大学脳神経小児科および国立精神神経センター（現、国立精神神経医療研究センター）で診療および研究を行い、その豊富な知識と経験により小児神経疾患のスペシャリストとして活躍してきました。現在、加東市内で加西市とは道一本隔てた所にある“わかあゆ園”に勤務しています。市立加西病院では頭部 CT、MRI 検査および脳波検査を行うことが可能であり、てんかんや発達絡みの小児神経疾患のお子さんの専門診療を行っております。

その他の診療

小児腎疾患診療

野津医師は小児腎疾患の領域での専門家であり、学校検尿異常児の診療を行っています。加西市で専門医がいるのは大変恵まれた環境です。

起立性調節障害

主に思春期に見られるこの障害は、朝の起立困難や身体的不調を引き起こします。生活指導や治療を行い、早期の相談をお勧めします。

発達障害

最近では、自閉スペクトラム症や ADHD などの発達障害の受診が増加しています。水戸医師は 5 歳児検診を担当し、早期発見と療育を推進しています。

予防接種

予防接種は感染症を減少させる有効な手段です。診察中に接種が可能で、事前に予約をお勧めします。

市立加西病院小児科では、様々な小児の健康問題に対応しています。お子さんの健康についてお困りの方は、小児科外来へぜひご相談ください。



「認知症・せん妄対策チーム」を紹介します。

認知症・せん妄対策チームの歴史

加西病院では、2014年度から入院患者さんのせん妄^{※1}症状に早期に介入し、身体疾患の治療が円滑に受けられるようサポートするため多職種で構成された「せん妄対策チーム」が発足しました。その後、せん妄だけでなく認知機能低下による混乱に対応し、誰もが身体疾患の治療を受けられる病院を目指し、2019年度にメンバーを再編成し「認知症・せん妄対策チーム」とチーム名も変更して活動を続けております。昨年度より認知症看護特定認定看護師が2名となり、より充実した認知症看護が提供できるよう日々取り組んでいます。

※1 セン妄とは、脱水や炎症、貧血など身体に負担がかかった時に生じる「意識の混乱」

認知症・せん妄対策チームメンバー紹介

認知症・せん妄対策チームは、精神科医師、認知症看護特定認定看護師、社会福祉士、薬剤師、作業療法士、看護管理者で構成されています。その他、病棟看護師も参加して、多職種がそれぞれの視点からケアを検討し、その人らしさを活かした認知症ケアが提供できるように努力しています。



認知症・せん妄対策チームの活動

認知症・せん妄対策チームはその名の通り、認知症やせん妄症状を有する患者さんの療養環境の支援をおこなっています。認知症の患者さんは、環境の変化や自身の体の変化に順応する力が低下します。そのため身体に不調がある上に、入院による環境変化が加わると行動・心理症状^{※2}が出現することがあります。行動・心理症状は身体疾患の治療に影響を及ぼすため、安全に治療を受けられるようにチームが介入し、薬剤調整や心地よい療養環境を整えています。日中の心地よい活動は心身の安定につながるため、患者さんの趣味や日課を考慮した活動を取り入れ、入院してもその人らしい習慣を継続できるように取り組んでいます。その取り組みには院内デイケアの設立や活動セット（塗り絵や脳トレドリル、折り紙等をまとめたBOX）を各病棟に設置しています。ベッド上で過ごすだけの入院生活で患者さんの笑顔を見る機会もすっかり減っていましたが、これらを導入したことでまた患者さんの笑顔がみられるようになりました。院内デイケアではこれまでの経験を通した話を聞かせてもらえることもあり、担当者も一緒に楽しい時間を過ごさせてもらっています。

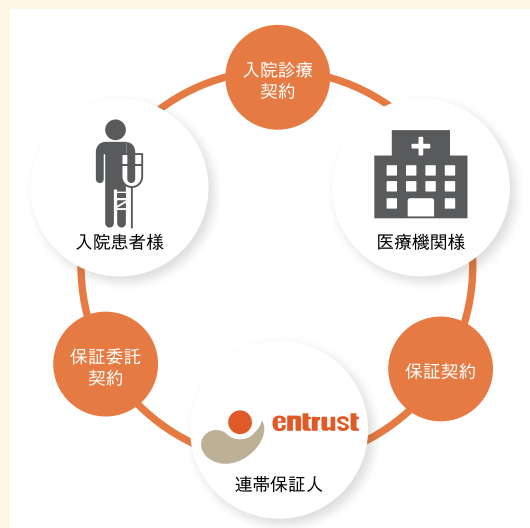
その他、入院中眠れない、気分の落ち込みや不安など悩みを抱えておられる患者さんの精神面への介入もおこなっています。入院の際に困りごとがあればいつでもチームにご相談ください。

※2 行動・心理症状とは、認知症による記憶障害、見当識障害等を基盤として、環境や人間関係、本人の性格、身体の不調などが影響して引き起こされる症状（不安、焦燥、妄想、介護抵抗など）

★ Topic!

入院時の連帯保証人が不要に

これまで、入院時には、入院誓約書に別生計の支払責任者として、連帯保証人を記載いただいております。しかし、明らかに支払い能力がある方や、身寄りのない方、また病気のことを身内に知られたくない方も多く、連帯保証人の記載が負担であるとの声があがっていました。そこで、加西病院では、医療費保証会社と契約し、2025年3月から「連帯保証人代行制度」を導入、現在は連帯保証人の記載は不要となっています。



加西市の2025年3月末現在の人口は41,244人、そのうち外国人は1,675人（約4%）の方が住んでおられます。加西病院は、外国人の方々が、言語によって受診を躊躇することがないように、2021年より、オンライン医療通訳「FACIL（ファシル）」を導入しています。

オンライン医療通訳「FACIL」とは

加西病院はNPO法人多言語センターFACILと契約を結び、外国人患者が通訳者を同行しなくても、オンラインで気軽に医療通訳者と繋がれる環境を整備しています。ビデオ通訳ができる言語は主要なベトナム語や中国語を含む7言語、電話通訳は22言語が対応可能です。タブレット端末に医療通訳者が映しだされ、医師、患者、通訳者の3者でストレスなく診察を行うことができます。

▼耳鼻咽喉科受診風景



▼小児科受診風景



利用者の感想



ブラジル人女性

診察のときに使ってとても良かったので、夫の体調が悪いときも加西病院を選びました。FACILを知ってから、病院に行く必要があるときは、いつも加西病院です。



中国人女性

発熱外来で使えたのが、とても助かりました。今後は診察でも利用したいと思います。



ベトナム人男性

通訳があれば、聞きたいことが聞けるし、正しい情報を理解できるから、疑問や不安を解消できて、安心して受診できます。

このように、加西病院は異国の地で暮らす外国人の方の言語による不安を解消し、選ばれる病院になってきています。今後も、「みんなにやさしい病院」を目指して、受診環境の整備に努めてまいります。

利用料および利用者・件数

FACILの利用料については、市より補助を受け、本人負担を0円（本来は10分1,650円）にし、また予約なしでも、救急外来でも利用できます。2024年度は加西市国際交流協会のご協力のもと、5言語の啓発チラシの作成、配布や新聞等への広報を行った甲斐もあり、103人116件ものご利用をいただきました。

▼2024年度言語別利用者数

言語	利用者数
ベトナム語	71人
ポルトガル語	13人
中国語	11人
英語	5人
タイ語	2人
ミャンマー語	1人
合計	103人

▼2024年度診療科別利用件数

診療科	件数
内科	46件
耳鼻咽喉科	17件
小児科	9件
皮膚科	8件
受付・会計	8件
外科	7件
整形外科	5件
救急外来	5件
麻酔科	3件
検査	2件
泌尿器科	1件
眼科	1件
その他	4件
合計	116件

▼啓発チラシ やさしい日本語版

【やさしい日本語】
かさいびょういん しんさつ
加西病院には診察のときに
オンライン医療通訳があります

ビデオ通訳ができることば

・英語・中国語・スペイン語
・ポルトガル語・韓国語・ベトナム語

電話通訳ができることば

・ネパール語・タイ語・ロシア語・フランス語・タガログ語
・インドネシア語・ドイツ語・イタリア語・マレー語・ミャンマー語
・クメール語・モンゴル語・シンハラ語・ヒンディー語・ベンガル語

通訳の時間：月曜～金曜の午前9時～午後5時30分

※病院の診察受付は午前8時30分～11時30分までです。

※救急も通訳できます。

通訳は無料です。

・使いたいときは、加西病院の受付で教えてください。

・加西病院に行く日が分かっているときは、通訳の予約をしてください。

・使うときは、同意書を書いてください。



【予約の電話】

かさいびょういん いし か

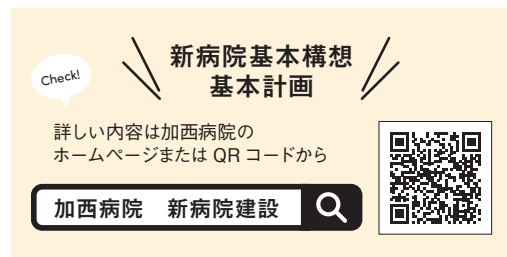
加西病院医事課

0790-42-2200

病院の建設にむけて、本年4月に新たに新病院建設推進室を設置し、市役所の建設部と連携しながら、令和12年(2030年)の開院を目指し、新しい病院づくりを進めています。

建設場所の変更に伴い、昨年度から、外部委員を交えた検討委員会を立ち上げ、計5回の会議を経て、新しい病院の骨格となる「新病院基本構想・基本計画」をまとめ、令和7年1月に市長へ答申いたしました。

この度、市民の皆さんから、これまでいただきました主なご質問にお答えすることで、この基本構想・基本計画の内容をご説明いたします。



Q 新病院って、ほんまにいろの？

現在の加西病院は、昭和49年に建設され老朽化が進んでいます。また、平成28年の調査で、本館の耐震性能が低いことがわかりました。それを受けて、外部委員による将来構想検討委員会等で検討を開始し、当市の医療ニーズに対応するためには、将来的に病院を維持し、建替えが必要と判断されました。市民アンケートや市民ワークショップを経て、求められる病院像について協議し、基本計画にまとめました。

その後、平地への移転新築に整備計画が変更になり、またコロナ禍による医療環境の大きな変化に対応すべく再度、基本構想・基本計画検討委員会を設置し、協議した結果、前計画の方向性を踏襲し、持続可能な新しい病院づくりを目指すことになりました。

Q なんで別の場所に建てるの？

現在の場所で建替えをする場合、診療（入院・外来）を継続しながら工事を進めるため、騒音の問題や収益悪化が予想されます。工事においても、来院者の動線を確保しながら、大型重機やトラックなどを使用するため、スペースが限定されることで、作業効率が悪化し、建設コスト増につながります。また、高台にあるため、高齢者の方にとっては通院しにくい点も理由です。

Q 新しい場所を選んだ理由は？

①市の中心部に近いこと、②交通の利便性が高いところ、③土地の規制等が少なく、早期の開発が可能などところ、④既存建物があるべく少ないところ等を条件として選定しました。

Q 新しい病院の特色は？

将来の医療需要を想定し、現在の199床から136床に減らします。また急性期医療を一定継続しながら、回復期病床の割合を拡大し、基幹病院で高度、専門的な治療を行った患者への継続的な治療やケアを行います。訪問看護を充実させ、健診などの予防医療を強化します。

また建物については、3階建てになり、1階に外来と検査機能を集約し、病棟を2階のワンフロアにまとめ、看護機能を向上させる計画です。また、災害拠点機能も備える予定です。



Q 救急はなくなるの？

A

これまでどおり 24 時間 365 日の救急体制を維持します。



Q 診療科はどうなるの？

A

医師の確保の状況によりますが、現在ある診療科を継続する方向です。入院については内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科となります。



Q 手術とかはしてもらえるの？

A

これまでどおり初期救急の範囲は可能です。重篤な場合は、基幹病院と連携して対応することになります。



Q 医師不足やけど、医者は確保できんの？

A

医師不足については、新病院への対応だけでなく、現在も最優先課題として認識しております。外来については、当院の医師に加え、不足する診療科に神戸大学附属病院をはじめ、周辺の基幹病院からの医師派遣をしていただいております。新病院においても、その体制や関係性が継続できるように努めます。また、入院については、病床数を削減しますので、医師の負担を軽減させながら、適正な人員確保に努めていきます。令和5年度より市で実施している医師確保奨学金も利用者が多く、将来的に期待しております。



Q 産科医師に来てほしい

A

全国的に医師数が少ない診療科であり、少子化により経営が非常に困難になってきております。当市でも「里帰り出産がしたい」などの声は多く、自治体病院の役割として、継続的に医師招へいに尽力しておりますが、大変厳しい状況です。将来的にますます厳しくなることが予想され、今後は、少し広い範囲、例えば北播磨地区全体で医師確保に向け考えていく必要があります。



Q 建設費がどんどん上がっているけど？

A

人手不足と資材費上昇等による建設費高騰は続いており、引き続き注視する必要があります。この度の基本構想・基本計画にある総事業費については、他の直近の病院建設単価を参考に、そこに今後の物価上昇率を加え算定しております。収支計画については、病院事業債を活用し、約 30 年間にわたり返済していきます。病院の収益と市の一般会計から繰入を資金とします。財政負担を少なくするために、各種補助金や国の交付税措置を活用していく予定です。



Q 現病院の跡地はどうするの？

A

あらゆる活用を視野に民間事業者の意見も参考にしながら、新病院の建設と並行して、市全体の都市計画の方向性を踏まえ、検討していきます。

会長挨拶 みんなで 応援を 新病院建設！

本年1月、新病院基本構想・基本計画検討委員会が加西病院の新たな方向性について答申されました。その骨子は、これからの加西病院は、地域多機能病院として、救急診療の機能は継続、高齢社会に向けて回復期に重点を置いたりハビリの強化、在宅医療の充実を目指して、診療所や介護事業者との連携を強化し、地域包括ケアシステムの中心的役割を担うように求めています。

北播磨圏域の医療構想、経営の安定化の観点から、病床数は136床（急性期56、回復期80床）とスリム化し機能的でより効率的な病院を目指されると思われます。

先般、県立10病院すべてが連続して赤字であるとの報道に接し、今後は物価の高騰、人件費の増加に加え、医師を初めとして医療の担い手不足等、更なる問題が生じてくることが予想されます。

加西病院だけではなく、厳しい医療環境が続く中で安全で良質の医療を提供するためには相当な困難が見込まれます。

しかし、人々の暮らしの中で病気やけが、災害などは人、場所、時を選びません。私たちの安心の砦として切望している新加西病院の早期建設着手が実現するように、市民の皆様のご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。

新加西病院が患者サイドに立って「治す医療と、支える医療」に方向性を決め、「入院や外来診療の充実、在宅や看取りの医療の提供、検診、ドック等予防医療の推進」等、市民のニーズに応えて下さることを期待し、サポーター会員の悲願である新病院の建設が一日も早く実現することを願い、これからも病院を応援してまいりたいと思います。



▲懇親会



▲ぶどう差し入れ

令和5年度 事業報告（令和5年10月1日～令和6年9月30日）

年 月 日	活動	備考
令和5年 10月19日	令和5年度 総会 令和4年度 事業報告、決算報告&監査報告 令和5年度 事業計画（案）、予算（案） 会員研修会 講演「運動器の障害について ＝関節症、骨粗しょう症、腰痛など」 加西病院 箱木 知也副院長	55名+委任状74名
12月4日	定例理事会	理事 14 名
12月16日	院内保育所「みつばち保育園」クリスマス慰問	理事 6 名
12月28日	加西病院年末感謝慰問 感謝メッセージと差し入れ	理事 6 名
令和6年2月7日	病院寄付 100 万円：高見 忍氏	理事 4 名
2月22日	市議会 加西病院建設担当委員とサポーター理事懇談会	市議9名 理事14名
3月4日	定例理事会	理事 14 名
4月25日	加西病院サルビア植栽	理事 10 名
5月9日～10日	フラワーセンター花ボランティア	理事 13 名
5月23日	定例理事会 花の植栽	理事 14 名
7月1日	市立加西病院だより&サポーターの会だより発行	広報委員
8月23日	加西病院職員 盛夏慰問&「加西ぶどう」差し入れ	理事 6 名
9月9日	定例理事会	理事 14 名
9月11日	加西病院「葉ぼたん」植栽	理事 8 人
9月25日～26日	フラワーセンター 花ボランティア	理事 11 人

年間を通じての活動

花壇の水遣り

毎月当番制で水やり当番：毎日

社会保険労務士による無料相談

毎月第2週と第4週の水曜日の午前中

「加西病院サポーターの会だより」発行

7月 年1回 加西市内全戸配布

病院中央玄関での介助ボランティア

中央玄関での介助ボランティアは「新型コロナウイルス感染症」に対する非常事態宣言以降活動休止

令和5年度決算報告書 R5.10.1～R6.9.30

収入

(円)

科目	予算額	収入額	比較増減	摘要
前年度繰越金	789,767	789,767	0	前年度繰越金
個人会費	90,000	71,500	18,500	143人×@ 500
賛助会費	350,000	360,000	△ 10,000	36社×@ 10,000
寄付金	1,000	0	1,000	
負担金	60,000	0	60,000	
預金利息	233	70	163	
計	1,291,000	1,221,337	69,663	

支出

(円)

科目	予算額	支出額	予算残額	摘要
事務費	50,000	17,662	32,338	ファイルコピー用紙 USB 等
総会費	80,000	20,720	59,280	往復ハガキ、切手代
事業費	480,000	252,029	227,971	会員研修会 30,000 病院保育所クリスマス慰問 8,298 年末当直医慰問 119,008 病院玄関植栽 2,723 盛夏感謝訪問(ブドウ) 92,000
備品	1,000	0	1,000	
予備費	680,000	0	680,000	
計	1,291,000	290,411	1,000,589	

令和6年度予算書 R6.10.1～R7.9.30

収入

(円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
前年度繰越金	930,926	789,767	141,159	前年度繰越金
個人会費	70,000	90,000	△ 20,000	140人×@ 500
賛助会費	360,000	350,000	10,000	36社×@ 10,000
寄付金	1,000	1,000	0	
負担金	0	60,000	△ 60,000	
預金利息	70	233	△ 163	
計	1,361,996	1,291,000	70,996	

支出

(円)

科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘要
事務費	50,000	50,000	0	郵送料 事務用品他
総会費	100,000	80,000	20,000	総会資料等
事業費	335,000	480,000	△ 145,000	医師・職員交流会 60,000 会員研修会 30,000 病院保育所慰問 10,000 年末当直医感謝慰問 130,000 病院玄関植栽 肥料等 5,000 盛夏感謝慰問 100,000
備品費	1,000	1,000	0	
予備費	875,996	680,000	195,996	
計	1,361,996	1,291,000	70,996	

※監査報告「令和5年度会計決算について、関係帳簿等を厳正に監査した結果、適正に処理されていたことを認めます。」

監査日：令和6年10月7日 監査委員：長田達子・田中俊宏

令和6年度 活動計画 (令和6年10月1日～令和7年9月30日)

随時	定例理事会 ・会員拡大に向けて活動（一般会員、賛助会員） ・医師招聘活動への協力
年間	地区当番による「花の水やり」
年間	社会保険労務士による無料相談 毎月 第2週、第4週、水曜日午前中
令和6年10月	令和6年度 総会 会員研修会
11月	冬の花植栽
12月	年末加西病院医師、職員への感謝訪問 院内保育所「みつばち保育園」クリスマス慰問
令和7年4月	春の花植栽
5月	フラワーセンター花ボランティア 夏の花植栽
7月	「サポーターの会だより」発行
8月	加西病院職員盛夏慰問&「加西ぶどう」差し入れ
9月	「病院職員&サポーター交流会」 フラワーセンター花ボランティア 冬の花植栽



会員募集中

「加西病院サポーターの会会員」(個人会員・賛助会員)
を随時受付しています。
多くの皆様のご加入をお願いします。

個人会費
年額 500円

申込先

市立加西病院総務課 TEL 42-2200 (代)
加西市老人クラブ連合会 TEL 42-5670

市立加西病院 外来診察担当表

令和7年5月1日現在

診療科		診察室	月	火	水	木	金	備考
内科	初 診	8	山 谷*	杉 江*	杉 江*	小 林*	岩 井	●金曜日17診の石井 Dr の診察は10:00～となります。 ●糖尿病看護外来とフットケア外来は火・木曜日の予約制です。 ●木曜日7診の七星Drは午後に睡眠時無呼吸症候群外来を行っています。現在、初診は受付不可です。 ●水曜日神戸大学は第1週米原Dr、第2週樺田Dr、第3週樺田Dr、第4週村上Dr、第5週村上Drで診察となります。
	初 再 診	7	破磯川*	元 生*	織 田*	七 星*		
	予 約 診	6	稲 垣 (消化)	山 谷 (内分泌・代謝)	午前 神戸大学 午後 神戸大学 (ペースメーカー)	山 谷 (糖尿病)	椿 野	
		5	町 口 (腎臓)		小 林 (心臓)	蓬 菜 (肝臓)		
		26			桂田直 (呼吸)		羽 間 (呼吸)	
		17					石 井 (血液)	
地域医療	人間ドック	30		井上広	石 井	井上広	山 谷	
脳神経内科 (完全予約制)	予 約 診	35	森本耕	芦 崎	的 場			●完全予約制です。 ●ボツリヌス注射は月曜日予約制です。
外科		18	生 田*		生 田*		生 田*	●ストーマ外来は第3水曜日の予約制です。 ●リンパ浮腫外来は火曜日・午後と水曜日・午前の予約制です。
整形外科	初 診	21	箱 木	交代で診察	岩 谷	横 田	飛 田*	
	再 診	22	岩 谷*		箱 木*	飛 田*	横 田*	
		23	飛 田*		山 本*	箱 木*	岩 谷*	
耳鼻咽喉科		1	堅 田	堅 田	堅 田	神戸大学	堅 田	●幼児・小中高校生の再診を水曜日の午後に行っています。(学童外来) ●木曜日午後からは手術日となります。 ●嚥下機能評価外来は火曜日・金曜日14:00の予約制です。
				嚥下機能評価外来 (14:00)	学童外来 (午後)	手術日 (午後)	嚥下機能評価外来 (14:00)	
精神科 (完全予約制)	予 約 診 (午前)	1	久保田	久保田	國 廣	久保田	第1・3週 久保田	●完全予約制です。 ●認知症の鑑別診断や認知症自動車運転の診断書に関しては、地域医療室を通して、ご相談ください。 ●現在、初診は受付不可です。
	予 約 診 (午後)		久保田					
産婦人科	午前 初再診	13				益 子*		●母乳外来は電話でご相談ください。 ●受付時間は10:00までとなります。
	午後 予約診							
小児科	午前 初再診	10				野 津* (夜尿・腎臓病)		●木曜日・金曜日両日とも予防接種は予約制です。 ●金曜日午後の初再診は前もって電話にてご確認ください。
	午後 予約診						水 戸* (慢性疾患)	
眼科	初 再 診 (9:00～11:00)	25 (1)	濱 田*	坂 井*	濱 田*	濱 田*	第2・4週 渡 部*	●外来の受付時間は11:00までとなります。 ●コンタクト外来は第2水曜日午前予約制です。
		25 (2)	渡 部*	渡 部*	渡 部*	渡 部*	濱 田*	
泌尿器科		11	高 橋*					
皮膚科	初 再 診	2	田 中*	田 中*	田 中*	田 中*		
			神戸大学* (午前)				神戸大学* (午前)	
腫瘍外来	初 再 診	17			佐々木* (放射線治療連携)			●佐々木 Dr の診察は9:00～10:30となります。 - また、第3水曜日は休診です。
麻酔科	専 門 外 来	16	林 (術前診/ペインクリニック)			午前 魚住・森川 (術前診)		
			魚住・森川 (術前診)					

(注) ※は予約の患者さまも含まれます。

発 行	市立加西病院 〒675-2393 兵庫県加西市北条町横尾1丁目13番地 TEL: 0790-42-2200 FAX: 0790-42-3460
編 集	広報委員会 (https://www.city.kasai.hyogo.jp/site/hospital)
受付時間	初 診 受 付 …………… 平日 午前 8:30～11:30 再 診 受 付 …………… 平日 午前 8:00～11:30 予 約 診 受 付 …………… 平日 午前 8:00～17:00 ※診療科により、受付時間や休診日が異なる場合があります。

- ・初めて加西病院を受診される方
- ・今回受診される科が初めての方、又は1年以上診察を受けていない方
- ・診察券をお持ちでない方

➤ 受付窓口②へお越しください。